

安全データシート

JIS Z 7253:2019 に基づく安全データシート

作成日：2024年3月28日

文書番号：DSKK-CSDS-137

版番号：第1版

1. 製品及び会社情報

製品情報

販売名	フィックス
品番	61601004
用途	アルギン酸印象材用トレーアドヒーシブ
使用の制限	本品又は類似成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

安全データシートの提供者の詳細

名称	デンツプライシロナ株式会社
住所	東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号 住友不動産汐留浜離宮ビル
電話番号	03-6264-2802
緊急連絡先	
電話番号	03-6264-2802 (信頼性保証本部 品質保証グループ)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性液体	区分 2
健康に対する有害性	皮膚刺激性	区分 2
	眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3
	特定標的臓器毒性 - 反復暴露	区分 2
環境に対する有害性	該当しない	

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報	H225 引火性の高い液体および蒸気
	H315 皮膚刺激
	H319 強い眼刺激
	H351 発がんのおそれの疑い
	H335 呼吸刺激を起こす恐れ
	H336 眠気やめまいのおそれ

	H373 長期間または反復暴により呼吸器系を損傷のおそれ
注意書き	
【安全対策】	熱/火花/裸火/高温の表面/その他の発火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 容器を設置すること/アースをとること。(P240) 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。(P241) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
【救急処置】	皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 (P304+P340) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P306+P360)
【保管】	施錠して保管すること。(P405)
【廃棄】	内容物/容器を、国/地方自治体の規制に従って廃棄すること。(P501)
他の危険有害性	情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の別：混合物

化学名	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	含有率(%)
N-(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・脂肪酸(不飽和 C=18)二量体・トル油脂肪酸重合体	68139-75-3	-	15 - 40
プロパン-2-オール	67-63-0	2-207	15 - 40
キシレン	1330-20-7	3-3	10 - 30
エチルベンゼン	100-41-4	3-28	1 - 5

4. 応急措置

応急措置	
一般情報	製品で汚れた衣服は直ちに脱ぐこと。
吸入した場合	新鮮な空気を与えること。 症状がある場合は医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに水と石鹼で洗い、よくすすぐこと。 皮膚の炎症が続く場合は、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	開いた目を流水で数分間洗い流すこと。 症状が続く場合は、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	症状が続く場合は、医師の診察を受けること。
急性症状及び遅達性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急処置をする者の保護	情報なし

医師に対する特別な注意事項	情報なし
---------------	------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、砂、粉末消火剤。水を使用しないこと。
使ってはならない消火剤	棒状注水。水。
火災時の特有の危険有害性	加熱中や火災の際には有毒ガスが発生する。
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護具及び予防措置	呼吸用保護具を装着すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	呼吸保護具を装着すること。 保護具を着用すること。保護具を着用していない人々を遠ざけること。
環境に対する注意事項	製品が、下水道や水路に流入しないようにすること。 下水道、作業ピット、地下室へ浸透することを防ぐこと。
封じ込め、浄化の方法及び機材	液体吸収材（砂、珪藻土、酸結合剤、万能結合剤、おがくず）で吸収すること。 汚染物質は第13項に従って廃棄物として処分すること。 十分な換気を確保すること。 水や水性洗剤で洗い流さないこと。
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	職場の換気・排気を十分に行うこと。 エアロゾルの生成を防ぐこと。
安全取扱注意事項	発火源を遠ざけること - 喫煙しないこと。 静電気の帯電から保護すること。 呼吸用保護具を常備すること。 化学薬品を扱う場合の、通常の注意を払うこと。
混融危険物質との接触回避	情報なし
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	涼しい場所に保管すること。 酸化剤から離れた場所に保管すること。 容器はしっかりと密閉すること。 十分に密閉された容器に入れ、涼しく乾燥した状態で保管すること。
安全な包装容器材料	元の容器で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	
WEL	Short-term value: 1,250 mg/m ³ , 500 ppm (プロパン-2-オール) Long-term value: 999 mg/m ³ , 400 ppm (プロパン-2-オール) Short-term value: 441 mg/m ³ , 100 ppm (キシレン) Long-term value: 220 mg/m ³ , 50 ppm (キシレン) Short-term value: 552 mg/m ³ , 125 ppm (エチルベンゼン) Long-term value: 441 mg/m ³ , 100 ppm (エチルベンゼン)
生物学的モニタリングガイドライン値	650 mmol/mol クレアチニン (媒体: 尿、採取時: 勤務後、パラメーター: メチル馬尿酸)
許容濃度	情報なし
設備対策	情報なし
一般的注意	食品、飲料、飼料から遠ざけること。 汚れた、もしくは汚染された衣類はすべて直ちに脱ぐこと。 休憩前と仕事の終わりには手を洗うこと。 目や皮膚との接触を避けること。
保護具	
呼吸用保護具	短時間の曝露または低汚染の場合は、呼吸フィルター装置を使用すること。 集中的または長時間の暴露の場合は、循環空気に依存しない呼吸保護具を使用すること。 部屋の換気が良い場合は必要ない。
手の保護具	<u>保護手袋</u> 手袋の素材は不浸透性で、製品に対して耐性があるものを選ぶこと。 テストが行われておらず、製品に対する手袋の素材についての推奨事項はない。 浸透時間、拡散速度、劣化を考慮して手袋の材質を選択する。 <u>手袋の材質</u> 適切な手袋の選択は、素材だけでなく、品質保証にも依存し、製造メーカーによって異なる。製品は複数の物質からできているため、手袋の素材の耐性を事前に計算することはできず、手袋の使用前に確認する必要がある。 <u>手袋素材の浸透時間</u> 正確な破過時間は保護手袋の製造元によって調査され、確認される必要がある。
眼及び/又は顔面の保護具	密閉性の高いゴーグル。
皮膚及び身体の保護具	保護作業服。
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	赤色

臭い	特有の臭い
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	82 °C 以上
可燃性	該当しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限:1 Vol %以上、上限:13.4 Vol%以下 製品は爆発性ではないが、爆発性空気/蒸気の形成混合も可能である。
引火点	12°C以上
自然発火点	325°C以上
分解温度	該当しない
pH	データなし
動粘性率	80.65 mm ² /秒
溶解度	水との混和性：混和しない、または混ざらない。
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	43 hPa 以下 (20°C)
密度及び/又は相対密度	0.87565 g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	危険有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	情報なし
混融危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	LD ₅₀ 5,04 mg/kg (ラット) (プロパン-2-オール) LD ₅₀ 4,300 mg/kg (ラット) (キシレン) LD ₅₀ 3,500 mg/kg (ラット) (エチルベンゼン)
経皮	LD ₅₀ 7,391 mg/kg (うさぎ) (製品) LD ₅₀ 12,800 mg/kg (うさぎ) (プロパン-2-オール) LD ₅₀ 1,700 mg/kg (うさぎ) (キシレン) LD ₅₀ 17,800 mg/kg (うさぎ) (エチルベンゼン)
吸入：ガス	該当しない
吸入：蒸気	LC ₅₀ /4 時間 70.2 mg/L (製品)

	LC ₅₀ /4時間 21.7 mg/L (キシレン)
	LC ₅₀ /4時間 11 mg/L (エチルベンゼン)
吸入：粉じん及びミスト	該当しない
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激を生じる
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	重篤な眼刺激を生じる
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	呼吸器の刺激のおそれ。嗜眠もしくはめまいのおそれ。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期もしくは繰り返しのばく露により、呼吸器系の損傷のおそれ。
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

一般的注意

水生環境有害性 (急性)	LC ₅₀ /96h 1,400 mg/L (魚類急性毒性試験) (プロパン-2-オール)
	EC ₅₀ /48h 13,299 mg/L (オオミジンコ) (プロパン-2-オール)
	LC ₅₀ /48h 8.5 mg/L (オオミジンコ) (キシレン)
	LC ₅₀ /96h 15.7 mg/L (魚類急性毒性試験) (キシレン)
	LC ₅₀ /48h 16.2 mg/L (オオミジンコ) (エチルベンゼン)
	LC ₅₀ /96h 80 mg/L (魚類急性毒性試験) (エチルベンゼン)
	EC ₅₀ /48h 4.75 mg/L (オオミジンコ) (エチルベンゼン)
	EC ₅₀ /72h 5 mg/L (藻) (エチルベンゼン)

水生環境有害性 (長期間) 情報なし

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性 情報なし

土壌中への移動性 情報なし

オゾン層への有害性 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	家庭ゴミと一緒に捨てないこと。 製品が下水道に流入しないようにすること。 都道府県知事の許可を得た、産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
汚染容器及び包装	都道府県知事の許可を得た、産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	1993
国連品名	引火性液体
国連危険有害性クラス	3
副次危険等級	該当しない
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない
MORPOL73 付属書及び IBC コード によるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
特別な安全上の対策	情報なし
その他(一般的)注意	情報なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	作業環境評価基準で定める管理濃度を有する物質 (プロパン-2-オール、キシレン、エチルベンゼン) 特定化学物質第2類物質(エチルベンゼン) 第2種有機溶剤等(プロパン-2-オール、キシレン) 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (エチルベンゼン) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(別表第9の494:プロパン-2-オール)、(別表第9の136:キシレン)、(別表第9の70:エチルベンゼン) がん原性に係る指針対象物質(エチルベンゼン)
化管法	第1種指定化学物質(キシレン、エチルベンゼン)
消防法	第4類引火性液体、アルコール類(プロパン-2-オール) 第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体(キシレン) 第4類引火性液体、第一石油類非水溶性(エチルベンゼン)
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(プロパン-2-オール) 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(エチルベンゼン)
海洋汚染防止法	有害液体物質(プロパン-2-オール) 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 危険物(施行令別表第1の4)(以上、エチルベンゼン)
航空法	引火性液体(プロパン-2-オール、キシレン、エチルベンゼン、エチルベンゼン)
船舶安全法	引火性液体類(プロパン-2-オール、キシレン)
港則法	その他の危険物・引火性液体類(プロパン-2-オール、エチルベンゼン)
道路法	車両の通行の制限(プロパン-2-オール、エチルベンゼン)

毒物及び劇物取締法	劇物(キシレン)
労働基準法	疾病化学物質(キシレン) 女性労働基準規則の対象物質(エチルベンゼン)

16. その他の情報

用途上の注意	情報なし
記載内容について	本データシートに記載された情報(以下、本情報といいます)は、作成された時点で当社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本情報は、お客様による本情報のご利用について当社が何らかの保証を行うものではありません。本情報は、お客様の責任において使用されるものとし、本情報利用に関し生じた技術上、経済上その他の損害については、当社は一切責任を負わないものとします。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
参照文書	Safety data sheet "Fix Adhesive" according to 1907/2006/EC, Article 31, Version number 8, Revision:23.01.2023